

各機関の取組事例紹介について

令和8年2月12日

- 第11回 九頭竜川・北川流域治水協議会
- 第8回 福井県二級水系流域治水協議会

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫の防止】

対策内容：堤防拡築、堤防強化

対策場所：一級河川九頭竜川、日野川

坂井市木部新保町、福井市天池町、
福井市大瀬町、福井市角折町

位置図



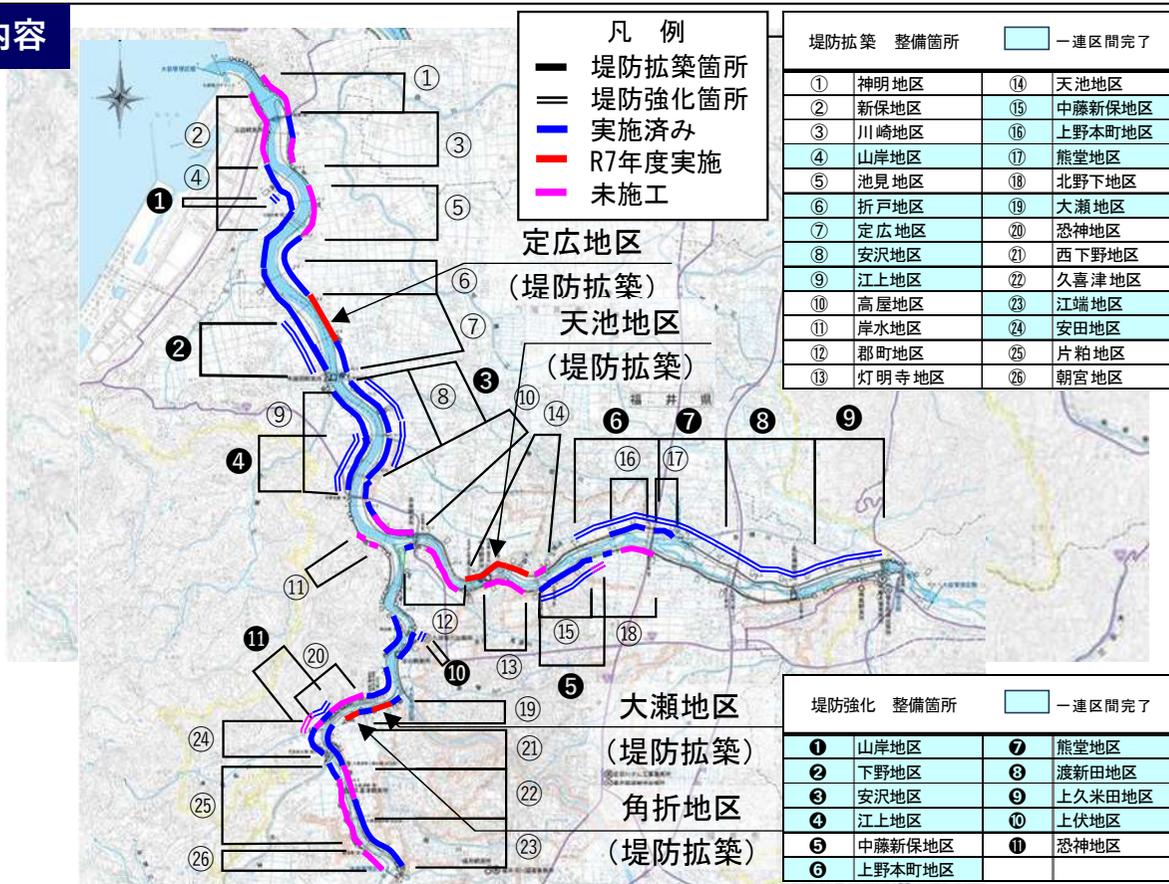
取り組み概要

九頭竜川、日野川は一級河川九頭竜川の本川及び支川で、直轄管理区間は福井市街地をはじめとした2市1町を流れる河川である。

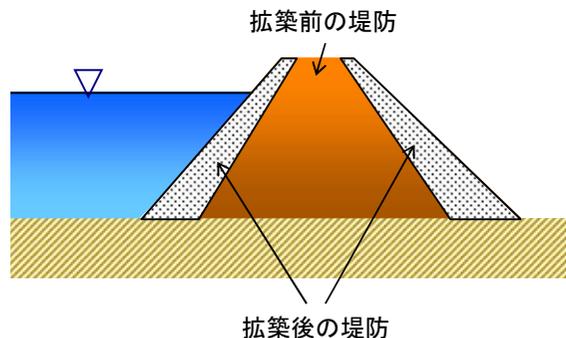
既往最大規模の洪水を安全に流下させるため、河川断面の拡幅や堤防強化などの改修工事を進めることで、治水安全度の向上を図り、住民が安心して暮らせる川づくりを目指している。

河川名	地点名	目標流量	備考
九頭竜川	中角地点	8,100m ³ /s	戦後最大規模の洪水（昭和36年9月型）に対応
日野川	深谷地点	5,200m ³ /s	戦後最大規模の洪水（昭和28年9月型）に対応
足羽川	天神橋地点	2,400m ³ /s	戦後最大規模の洪水（平成16年7月）に対応

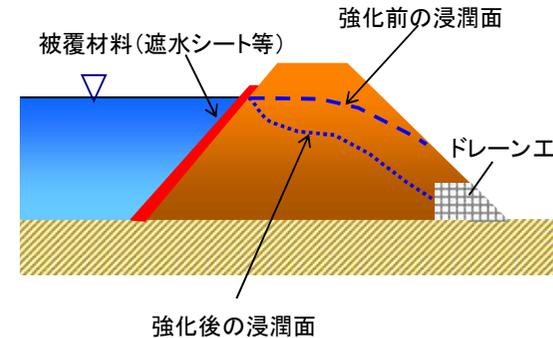
内容



堤防拡築のイメージ



堤防強化のイメージ



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【避難の確保(平時)】

対策内容：ふくい県域タイムラインによる防災力向上
対策場所：福井県全域

取り組み概要

- 災害時に**関係機関が危機感を共有する体制を構築**し、災害に対する危機感共有、早期の準備や避難指示等の**迅速な意思決定につなげる**ため、福井県、福井地方气象台、県内全17市町、報道機関等の流域関係者と連携し、令和5年度出水期から「ふくい県域タイムライン」を試行運用している。
- 令和7年度は、出水が見込まれる場合の情報共有を目的に開催する**WEB危機感共有会議3回(2出水)**、情報共有プラットフォームによる**情報提供6出水**、関係者が協働でタイムラインの作成や防災対応の意見交換を行う**策定部会2回**、防災気象情報に関する**勉強会3回**を開催し、**連携の強化や防災対応の向上**を図った。
- 令和8年度の出水期より「ふくい県域タイムライン」を本運用する予定。

内容

- WEB危機感共有会議
関係機関が防災気象情報、危機感を共有し災害対応に活用



- 情報共有プラットフォーム
 - ・状況把握を迅速化するために気象情報や水位、河川カメラの情報を集約
 - ・メッセージ機能による最新の情報提供



- 策定部会
防災対応に関する意見交換



- 勉強会
WEB開催



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

九頭竜川

【洪水氾濫の防止】

対策内容：ダム建設

対策場所：池田町小畑地先

取り組み概要

位置図



ダム完成イメージ



創意工夫 (参考となる情報)

夜間見学会の開催

今年度は民間旅行会社として初開催！！
～足羽川ダムナイトツアーで現場案内を行いました～

「夜間見学会」の開催概要、スケジュール、参加費、申し込み方法などの詳細情報が掲載されています。

ダム本体建設工事展望台の解放



内容

- ・ダム堤体打設
- ・管理設備工・放流設備工
- ・分水施設 (導水トンネル・分水堰等)
- ・付替道路



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

九頭竜川・北川

大雨などによる崩壊地については、下流で起きる洪水などの原因にもなることから、崩壊地や溪流などの山地災害箇所では治山工事を行い、山脚の固定をはかり溪岸の浸食を防止するとともに、上流の溪床勾配を緩和することにより、土砂・流木の流出を抑制し山地災害の防止に努めています。

【 森林の浸透・保水機能の発揮 】

対策内容：治山対策

対策場所：池田町冠山国有林 コンクリート谷止工 1基 330m³



対策前



対策後

対策内容：治山対策

対策場所：若狭町河内国有林 鋼製谷止工 2基

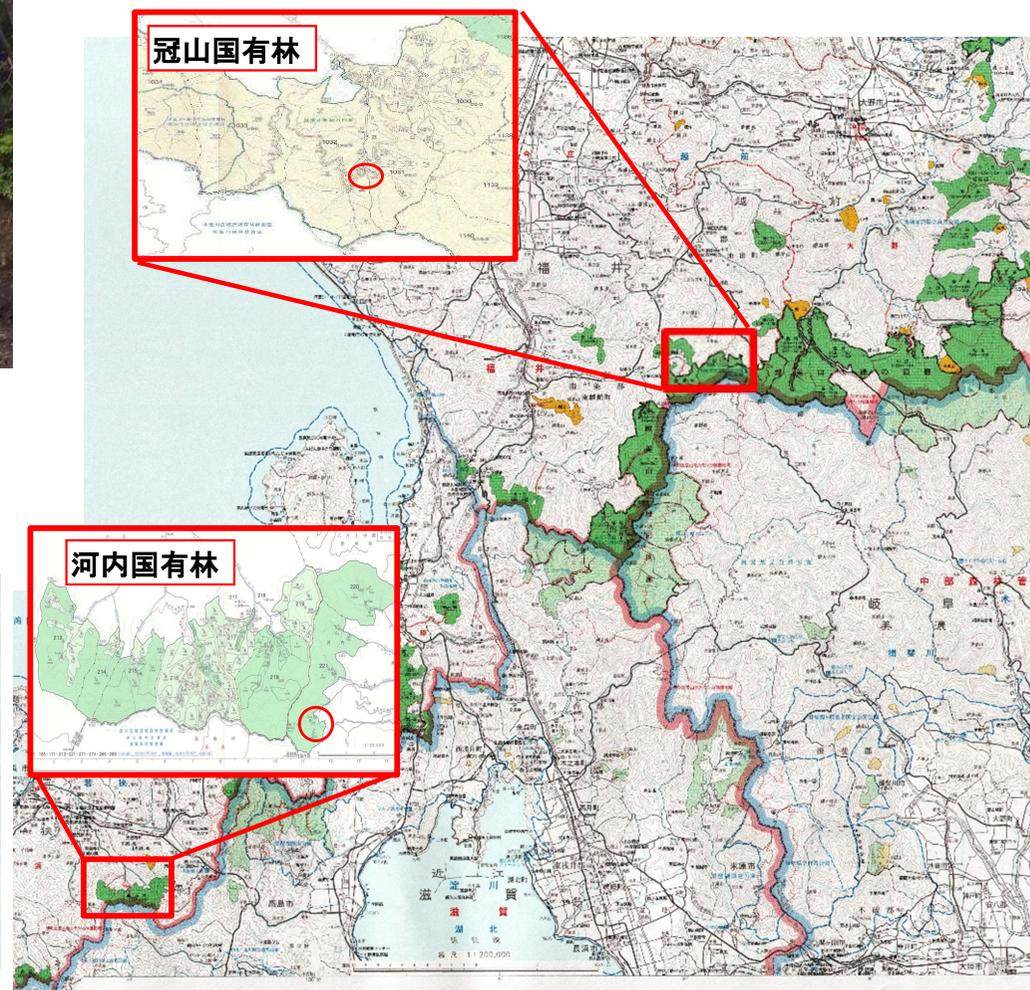


対策前



対策後

施工箇所流域内には多くの不安定土砂が堆積しており、今後の降雨等により流出する危険性が高いことから溪間工を施工し土砂の流出を抑制した。



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

九頭竜川・北川

【防災気象情報に関する普及啓発の取組み】

- 防災教育・防災対策への知識向上を目的として、児童に対してお天気フェアを開催。
- 市町職員、要配慮者等利用施設、交通機関への勉強会の実施。

令和7年8月2日 エンゼルランドにて



令和7年7月1日 坂井市役所にて



令和7年度に実施・参加した事業(一部抜粋)

- 6月30日_要配慮者利用施設の避難訓練(越前市の要配慮者利用施設が参加のワークショップ等)
- 7月1日_坂井市職員研修会(坂井市職員向けの防災気象情報勉強会)
- 8月2日_お天気フェア2025(主に小学生を対象にした普及啓発イベント)
- 11月14日_大雪に関する勉強会(鉄道3社(福鉄、えち鉄、ハピライン)に対する大雪時に発表される防災気象情報等勉強会)

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

福井県

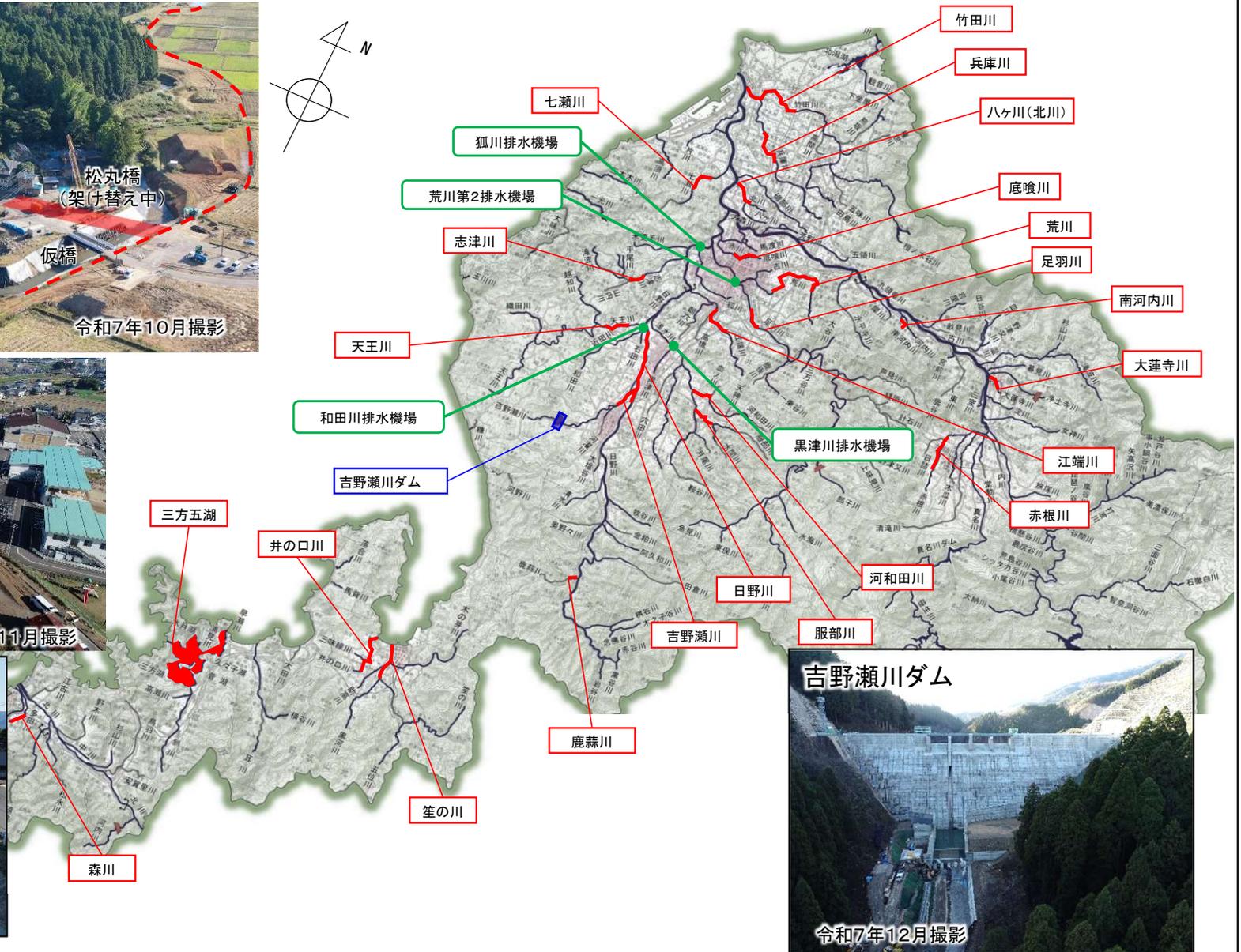
【洪水氾濫の防止】

対策内容：河川改修、ダム建設など

内容

令和7年度は、
22河川の河川改修と吉野瀬川ダムの建設、
排水機場の老朽化対策、91河川の浚渫、伐木を実施

位置図



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

福井県

【市街地等の浸水の防止】

対策内容：県有施設を活用した雨水浸透施設整備

取り組み概要

- ・目的
雨水の流出を抑制するため、県有施設において雨水貯留浸透施設の整備を実施。
- ・取組の経緯
令和5年 「県有施設改修時における雨水貯留浸透施設整備について(通知)」を県関係部局に通知

令和6年～ 知事部局、教育部局、警察部局の工事施工担当課および財産活用課との協議を継続
- ・令和7年度の整備実績
福井県立ろう学校
透水性舗装861m²、令和7年8月完成
大野警察署(新庁舎)
透水性舗装2,875m²、令和7年9月完成
福井南警察署麻生津交番
透水性舗装278m²、令和8年3月完成予定
ふくい健康の森
余水吐塔嵩上による容量向上、令和7年12月完成

内容

福井県立ろう学校



大野警察署



浸水対策として、設備機能を上階に配置

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【農地等の浸水の防止】

対策内容：田んぼダム

取り組み概要

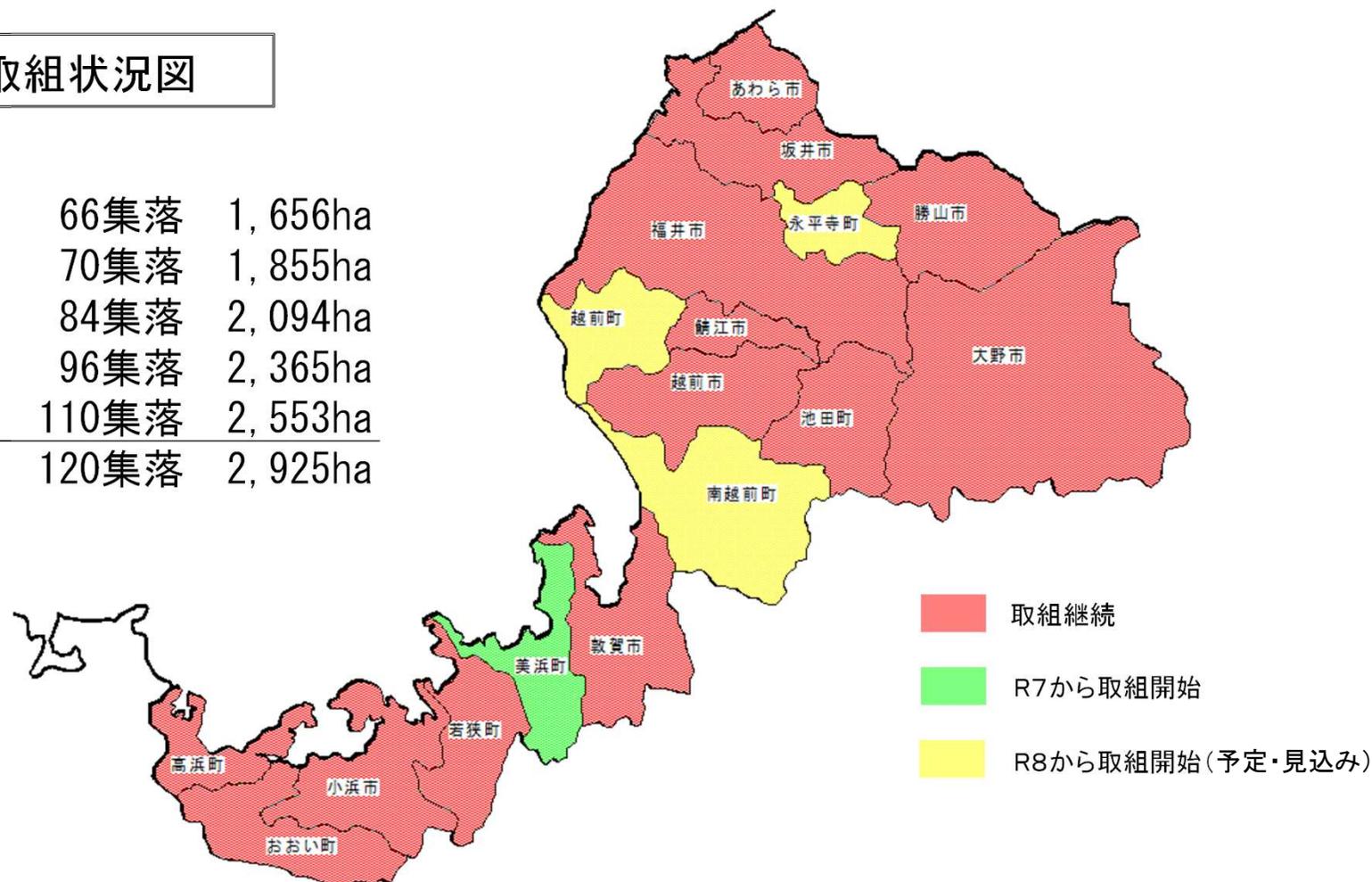
- ・ 田んぼダムは平成24年度から始まり、令和4年度からは、田んぼダム利活用促進事業を活用して、更なる取り組みの拡大を図っており、令和7年度末時点で14市町、2,553ha取組まれる見込み。
- ・ 令和8年度からは、更に3町で新たに田んぼダムの取り組みが開始される予定。

内容

田んぼダム取組状況図

【取組面積】

R3末時点	4市町	66集落	1,656ha
R4末時点	6市町	70集落	1,855ha
R5末時点	8市町	84集落	2,094ha
R6末時点	13市町	96集落	2,365ha
R7末見込	14市町	110集落	2,553ha
R8計画	17市町	120集落	2,925ha



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【農地等の浸水の防止】

対策内容：農地・農業用施設の活用検討チーム

取り組み概要

令和3年度から田んぼダムをはじめとする農地や農業用施設の機能を活かして効果的な流域治水を推進するため、県部局横断型チーム（農林水産部／農村振興課・農林総合事務所、土木部／河川課・土木事務所、関係市町など）を設置して調査・検討を進めている。

内容

令和4、5年度の取組み

【テーマ：開水路】

田島川流域をモデルに農業用水路の機能を活かした流域治水対策を検討

【具体的な検討内容】

- ・現地調査（浸水箇所、農地・農業用施設、河川への放流箇所等）
- ・農地・農業用水路の流域治水機能の調査

【取組み成果】

- ・ゲートの遠隔操作や排水先の変更など、
 - ・実効性のある流域治水対策案をとりまとめ
- R5:水位計設置2箇所
R6:ゴルフ場調整池の事前放流運用開始

令和5、6年度の取組み

【テーマ：パイプライン】

底喰川・馬渡川流域および福井市街地（芝原用水区域）をモデルに農業用水路のパイプライン化が流域治水に与える影響を検討

【具体的な検討内容】

- ・国営パイプライン事業実施前後の浸水箇所の検証
- ・用水路の治水効果向上策を検討

【取組み成果】

- ・パイプライン化による流域治水効果を確認
 - ・実効性のある流域治水対策案をとりまとめ
- R7:水位計設置3箇所

令和7年度の取組み

「農業用ため池の洪水調節機能」についてワーキングを検討中（R7～R8）



ワークショップ形式による対策案の検討（R6）

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【市街地等の浸水の防止】

対策内容: 公園貯留

対策場所: 福井市 木田3丁目 地先(鹿江公園)

位置図



取り組み概要

木田地区は、道路冠水等の浸水被害が頻発しているエリアであり、地元から改善要望が上がっている。

雨水貯留浸透施設を整備することで、道路冠水等の浸水被害の軽減を図る。

場 所: 福井市 木田3丁目 地先(鹿江公園)

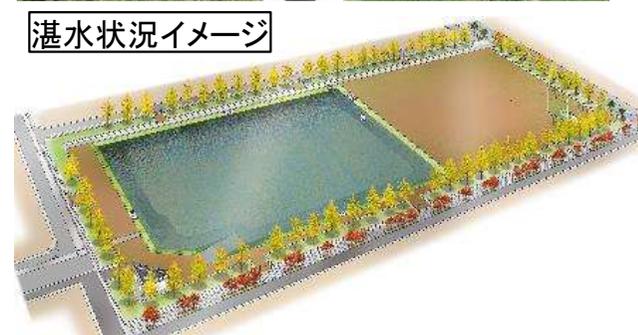
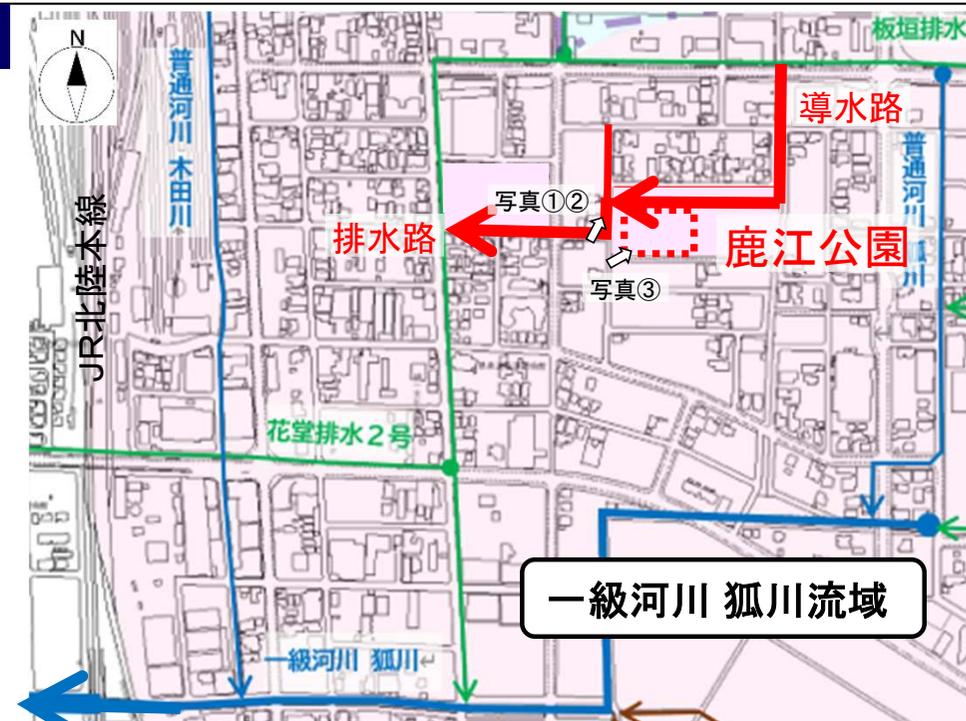
流 域: 1級河川 狐川流域

貯 留 量: 2,300m³ (調節池1,800m³+水路500m³)

貯留方式: 掘込式

事業期間: R5~R7

内容

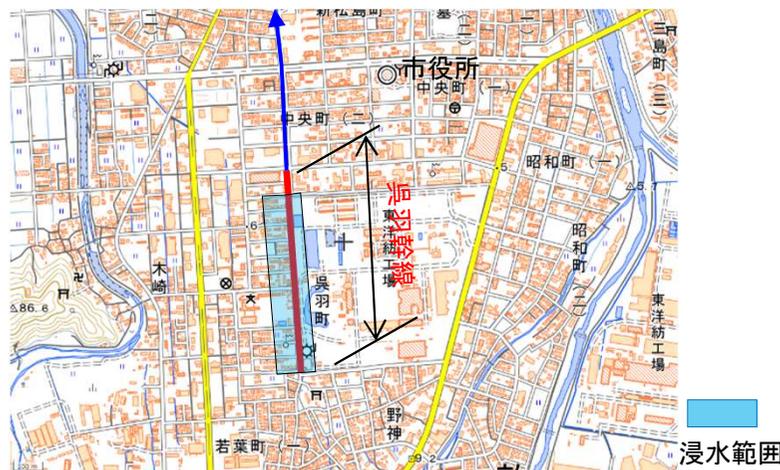


① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【内水の排除】

対策内容：排水施設(下水道)
 対策場所：敦賀市呉羽町地係

位置図



取り組み概要

- ・背景
 敦賀市松原排水区域内において内水被害が発生しており、住民から対策要望を受けていた。
- ・内容
 内水の浸水防除のため敦賀市公共下水道事業計画に基づき雨水幹線を整備する。
 計画降雨量：40.2mm/h(7年確率)
 計画断面：2600×1600～1500×1500
- ・事業年度
 令和2年度～令和8年度

内容



既存水路



過去浸水状況

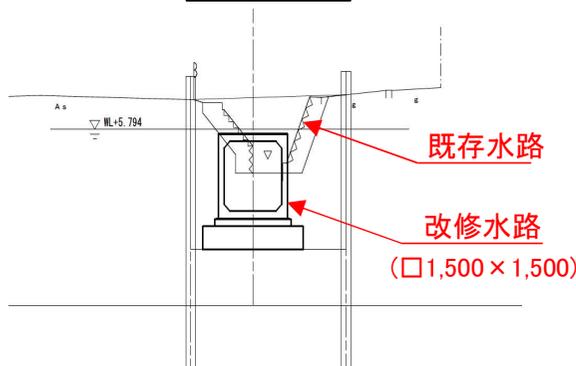


施工状況



施工状況

横断面図



ハード・ソフト対策 工程表

1 水路改修

内容	R7年度まで	R8年度	R9年度
計画検討	一式		
施工	L=629.0m	L=31.0m	

2 内水ハザード啓発

内容	R7年度まで	R8年度	R9年度
内水浸水想定区域図シミュレーション	一式		
内水ハザードマップ作成、配付		作成	配付

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【河川への流出抑制 / 市街地等の浸水の防止】

対策内容：公園貯留

対策場所：小浜市生守地区(森川流域)

位置図



対策後

当該地区において懸念される浸水害リスクの低減を図るため、市営駐車場用地を活用し、一部の駐車場利用を存続させようと雨水貯留施設を整備する。

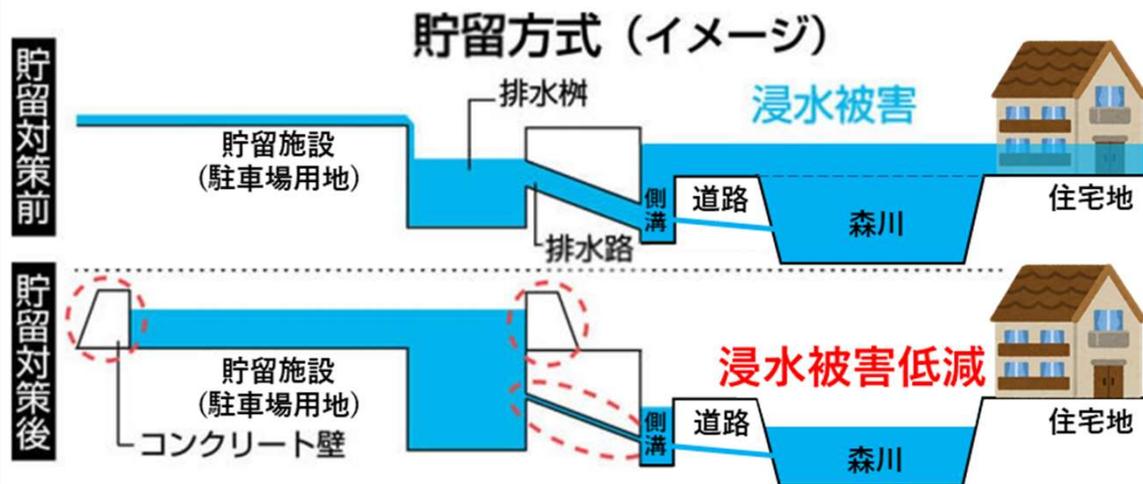
場 所:小浜市生守地係

貯留量:約170m³

市営駐車場用地を活用し貯留施設を併せ持った公園(あそび広場)整備を行う。

周囲をコンクリート壁で囲い、1箇所に集約した流末排水口から少しずつ雨水を放流することで、流域河川である森川への負荷を軽減し、洪水による浸水を抑制する。

内容



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫の防止】

対策内容：浚渫、護岸改修
底打ちコンクリート

対策場所：一級河川赤根川支川 新堀川 大野市

取り組み概要

新堀川は、一級河川九頭竜川の支流である赤根川に合流し、大野市街地を流れる河川である。

現況の河幅が狭く、令和4年度および5年度の豪雨では越水による床上・床下浸水が発生しており、大雨時には非常に高い浸水被害の恐れがある。この状況を改善するため、以下の治水対策を進めている。

- ・堆積土砂の撤去
 - ・河川縦断勾配の修正
 - ・護岸の耐久性と安定性を高めるための改修
- これらの護岸改修工事を通じて、治水安全度の向上を図り、地域住民が安心して暮らせる川づくりを目指している。(令和7年度をもって対策工事を完了)

現況河川



完成写真



内容



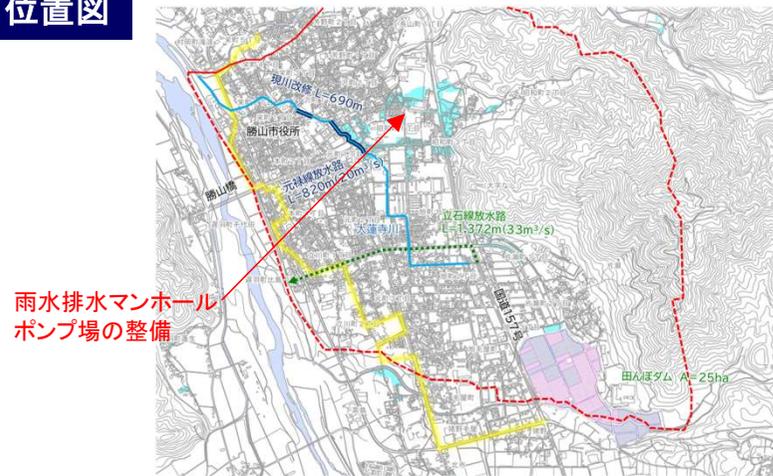
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【内水の排除】

対策内容：排水施設・ポンプ(下水道)

対策場所：勝山市昭和町2丁目 地先

位置図



取り組み概要 雨水排水マンホールポンプ場の整備

昭和町2丁目地先の一部地域において、過去より内水浸水による浸水被害が複数回発生している。近年では、令和4年災及び5年災時に床下浸水が生じているなど、大雨時には浸水被害の恐れが非常に高い状況である。

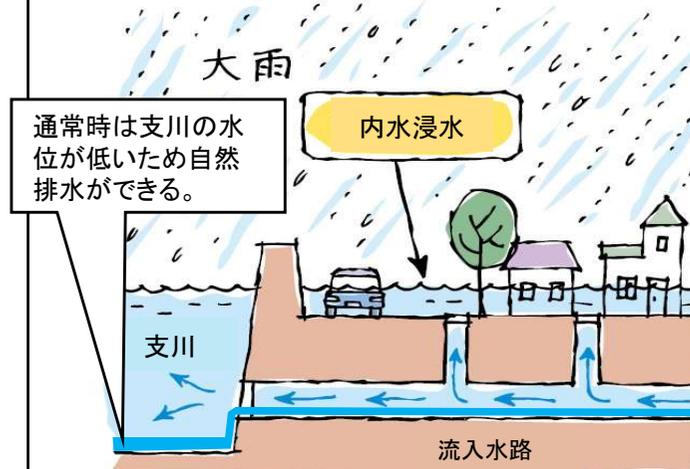
原因としては排水先の河川水位が上昇することで、自然排水ができずに内水浸水が発生している状況であることから、マンホールポンプ場等の整備により内水を強制排水することで、治水安全度の向上を図り、住民が安心して暮らせる施設整備を目指している。

内容

【浸水地区及び整備内容】



【内水浸水のイメージ図】



【令和4年8月撮影】



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫の防止】

対策内容：河川改修

対策場所：福井県鯖江市 神通川流域

取り組み概要

準用河川神通川は、平成29年に堤防決壊氾濫をはじめ、令和4・5年に堤防越水氾濫するなど、近年浸水水害が頻発している。

大規模な河川改修等には相当な時間と費用を要することから、まずは、流出抑制効果のある田んぼダム整備の治水対策を行ってきた。

神通川流域における田んぼダム整備実績
R7年度末 229ha/233ha

対策後

令和7年度の実施内容

①神通川の河道計画等検討

令和6年度末までの調査検討で設定した計画規模・計画流量に基づいて、河川改修案や放水路案など「治水方式」の比較検討を行ったうえで神通川流域の河道計画を策定したところです。

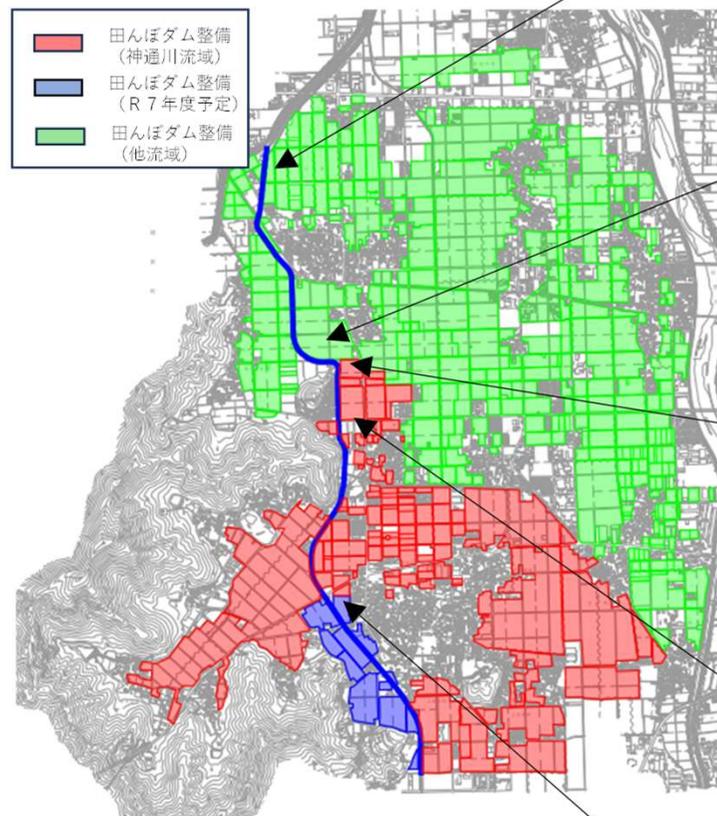
今後は、河道計画策定後、整備対象区間を設定し効果的な整備に向けた事業化の準備を行う予定です。

②田んぼダム整備

R7年度末完了予定(漆原町) 17ha

内容

神通川の河川流域



神通川治水対策 河道計画ワーキング検討部会
令和7年10月(第2回検討部会)



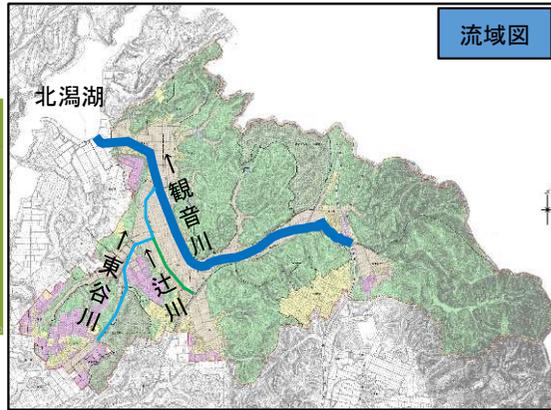
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【観音川流域治水協議会】

対策内容：実施可能な対策の検討と実行

対策場所：二級河川観音川流域

位置図と経緯



令和5年7月の豪雨災害を契機とし、観音川流域内の住民及び企業、団体と関係官公庁が相互に協力して「流域治水」を計画的に推進することを目的に令和6年7月31日に「観音川流域治水協議会」を設立。

取り組み概要

実施可能な取組の検討は、流域内を3つのブロック（本川流域、準用河川東谷川流域、準用河川辻川流域）に分けて、ブロックごとにワーキンググループ形式で進めていくこととした。

令和6年と令和7年は、山林、耕地、宅地の比率がほぼ均等な東谷川流域にてワーキングを行い、治水安全上で課題となっている箇所や、治水対策に活用可能な場所を視察し、対策の実現に向けて検討を進めている。

- ①柿原地区田んぼダム→試験施工実施
- ②フルーツライン排水路→設計・協議
- ③観音川→細呂木地区護岸嵩上設計
- ④山林→流域内山林で間伐を実施
- ⑤防災出前講座→指中区で実施
- ⑥福井国際CCため池→排水口の縮小

内容



総会の開催(令和7年3月27日)



ワーキンググループ会議の開催
(令和7年8月25日)

先行事例地視察の開催
(令和7年11月10日)
委員、市議など20名が参加
【視察先】

- ①永平寺町ため池事前放流
- ②下六条町田んぼダム
- ③松本公民館宅内貯留タンク



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【農地等の浸水の防止】

対策内容：田んぼダムの整備

対策場所：越前市味真野地区（浅水川流域）

現況・対策

・現況

越前市の味真野地区北部において、平成24年ごろから浸水被害が頻発しており、北町及び味真野土地改良区より早急改修の要望が出されている。

・今後の対策

浸水被害リスク軽減のため、幹線排水路の整備と合わせて地域で田んぼダムを取り組むことにより、流域全体で治水対策に取り組む。

進捗状況及び計画

【幹線排水路】

- 県営農村災害対策整備事業 味真野北部地区
平成28年～29年度 河川協議
- 令和6年度 事業採択に向けた調整
- 令和7年度 事業採択、詳細設計
- 令和8年度～ 工事着手予定

【田んぼダム】

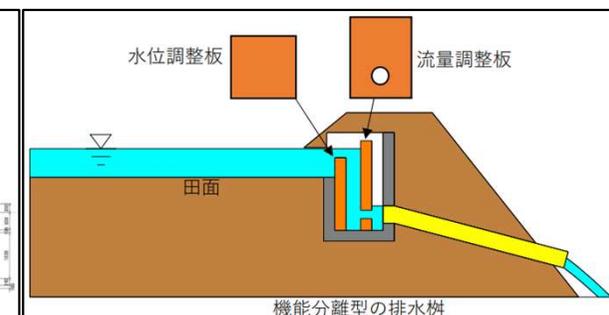
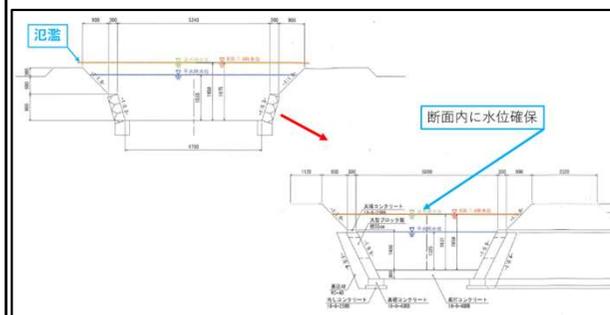
- 田んぼダム利活用促進事業 味真野地区
令和6年度 土地改良区正副理事説明
- 令和7年度 10ha(全体計画 約180ha)

内容



幹線排水路整備イメージ

田んぼダム整備イメージ



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

九頭竜川

【農地等の浸水の防止】

対策内容：ゴルフ場調整池の事前放流＋貯留
のなかさんのう

対策場所：坂井市 丸岡町 野中山王区

取り組み概要

区内のゴルフ場には調整池があるが、建設当時に地元との協議のなかで、水が不足する時に地域のほ場へ配水する約束事があったことから、常に調整池にその分の水量が溜まっている状態となっていた。

地元と協議を行い、区内の新規就農予定者には、ほ場への配水が不要な作物(白ネギ)を作付してもらうことで、今後、調整池に水を溜めないことについての了承を得た。

今後は、水門を常時開放し、豪雨が想定されるときは建設課からの連絡でゴルフ場の従業員が水門を閉塞するという運用を行う。

対策後

水門を常時開放することにより、農業用水確保時の水位から約50cm下げることが可能となり、調整池の面積は約1,000㎡であることから、約500㎡の貯留機能をさらに確保することができた(調整池必要量合わせて約1,000㎡貯留可能)。

・実施

令和6年度実績 3回

令和7年度実績 1回(R7.8.6)

坂井市建設課

異常気象や警報等の情報入手



ゴルフ場

調整池の状況確認および水門の操作を依頼

- ・水門全閉→事前放流し降雨前に全開
- ・水門全開→降雨前に全閉(一時貯留)

位置図



①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

九頭竜川

【農地等の浸水の防止】

対策内容：①ため池の事前放流、②田んぼダム

対策場所：荒川流域

①島川ため池、②松岡上吉野地係 外

現地写真



位置図



取組概要

①ため池の事前放流

■目的

- 大雨が予想される際に、ため池の事前放流を行い、降雨時のため池からの流出を抑制し、河川の氾濫を防止する

■放流実績

- 最大貯水量30,000 m³のうち、約20,000m³を事前放流

■地区との協議

- 流域治水の観点のみならずため池の決壊リスクを低減させることで理解醸成

■今後について

- 事前放流の目的や効果を示した上で、その必要性について情報共有する
- 地元土地改良区および関係機関と協議の上、管理手順等の基準を作成する

②田んぼダム

■目的

- 田んぼダムを整備することで、大雨時の排水路や河川の急激な水位上昇を抑え、洪水被害を軽減する。
また、周辺農地や集落の浸水被害の軽減にもつながる。

■整備内容

- 排水口および畦畔の整備

■地区との協議

- 松岡吉野土地改良区および農事組合法人吉野ホテルの里ファームと協議済み

■今後について

- 令和8年度：松岡上吉野地係
- 令和9年度：〃
- 令和10年度：松岡小畑地係 外

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【農地等の浸水の防止】

対策内容：田んぼダムの整備

対策場所：足羽川流域

池田中部地区(県営)

池田水海地区(県営)

池田清水谷地区(町営)

取り組み概要

田んぼが持つ雨水貯留機能を利用して、大雨時に排水路に流れる水の量を抑制することにより、周辺の農地および集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る。

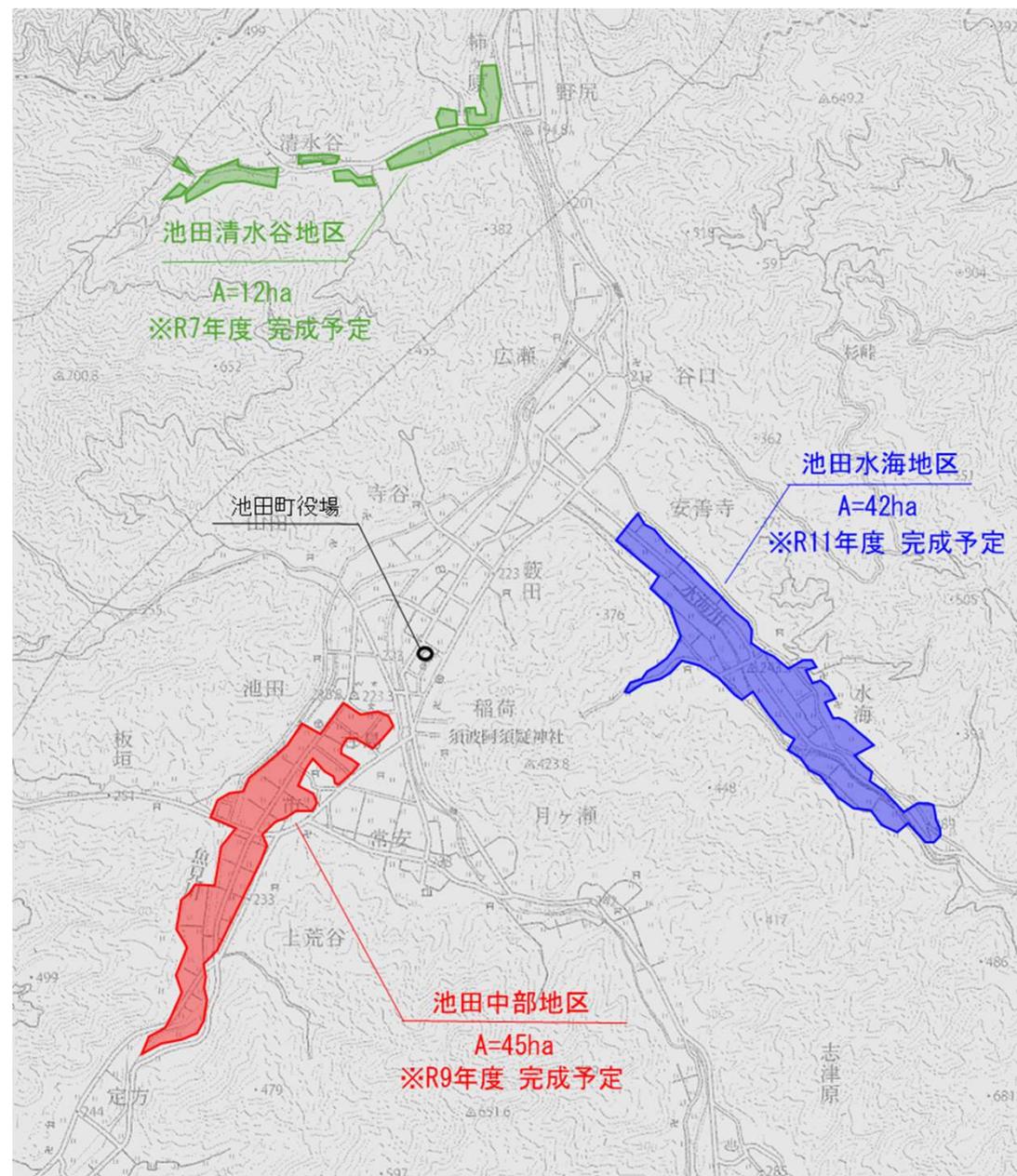
令和7年度まで 池田中部地区(39.3ha)

池田清水谷地区(12.2ha)

令和8年度以降 池田中部地区(5.1ha)

池田水海地区(42.0ha)

内容



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【自主防災組織などへの支援】

対策内容：住民主体による流域での取組

対策場所：一級河川鹿蒜川流域
二級河川河野川流域

取り組み概要

福井豪雨に次ぐ災害となった令和4年8月大雨において、被害が集中した鹿蒜川流域の復旧・復興を迅速かつ確実に進めるため、県と連携し被災施設の復旧に加え、早期に効果が発揮される輪中堤などの新たなハード整備および迅速な避難行動につながるソフト対策を一体的に進めている。

ソフト対策の一つとして、組織設置に関する補助や防災講座を開催しており、令和4年8月大雨以降新たに15集落で自主防災組織が設置された。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - 防災機能の強化
 - ・ 輪中堤整備、河道拡張（町、県）
 - ・ 砂防設備の整備（町、県）
 - ・ 治山ダム（町、県）
 - 被害を受けた施設の早期復旧
 - ・ 護岸、道路路肩等の復旧（町、県）
 - ・ 流出した橋梁の架け替え（町、県）
 - ・ 農地、農林施設の復旧（町、県）
 - ・ 水道、下水道の復旧（町、県）
 - ・ 宅地内堆積土砂排除（町、県）
- 被害対象を減少させるための対策
 - ・ 災害危険区域指定による土地利用規制（町）
 - ・ ※ 立地規制により、新たな宅地化の進展による被害増大を防止
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・ 浸水害・土砂災害対応タイムラインの作成・運用（町、県）
 - ・ ※ 法的な避難情報発令に活用
 - ・ 水位計・河川監視カメラの設置（町、県）
 - ・ ハザードマップの周知・説明（町、県）
 - ・ WE BやSNS等を活用し、住民に避難情報を確実に伝達する体制・手段の改善（町、県）
 - ・ 防災出前講座の実施（町、県）
 - ・ 自主防災組織未結成集落への組織設置に関する説明会実施
 - ・ 既自主防災組織の活動（備品購入・避難訓練等）支援（町、県）
 - ・ 避難行動要支援者の個別避難計画策定の促進（町、県）
 - ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援（施設、町、県）



内容



赤萩地区
住民が河野川清流保存会を発足し、流木の除去や周辺のごみ拾いといった清掃活動を行っている。

大桐地区
水の道再生プロジェクトと銘打つワークショップが開かれ、石積みや枝葉を敷き詰める山の整備を行うことで、雨水が河川に流れるプロセスを複雑にする作業が行われている。



②被害対象を減少させるための対策

【防災まちづくり】

対策内容：減災対策事業計画の策定
対策場所：美浜町内

概要

・場所

耳地区(耳川水系)、山東地区(半島)、
西郷地区(早瀬川水系)

・経緯

近年の気候変動により、時間雨量50mmを超える雨が頻発するなど雨の降り方が局地化、激甚化している。本町では町の中央に耳川、西に久々子湖、東には砂防河川が多々あることから、水害から住民等の生命、財産を保護し、郷土を保全するために、計画的に減災対策等に取り組むことが重要である。

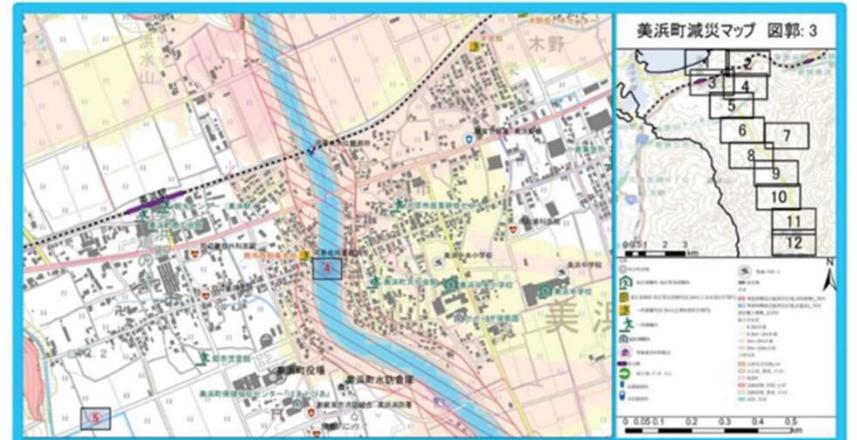
・取り組み

住宅地、商業地等の地域別に水害リスクを評価し、浸水被害の軽減に向けての計画を策定した。

・事業年度

令和6年度 耳地区(耳川水系)
令和7年度 西郷地区(早瀬川水系)、
山東地区

内容



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【内水の排除】

対策内容：排水路改修、地盤嵩上げ

対策場所：和田地区 高浜町

位置図

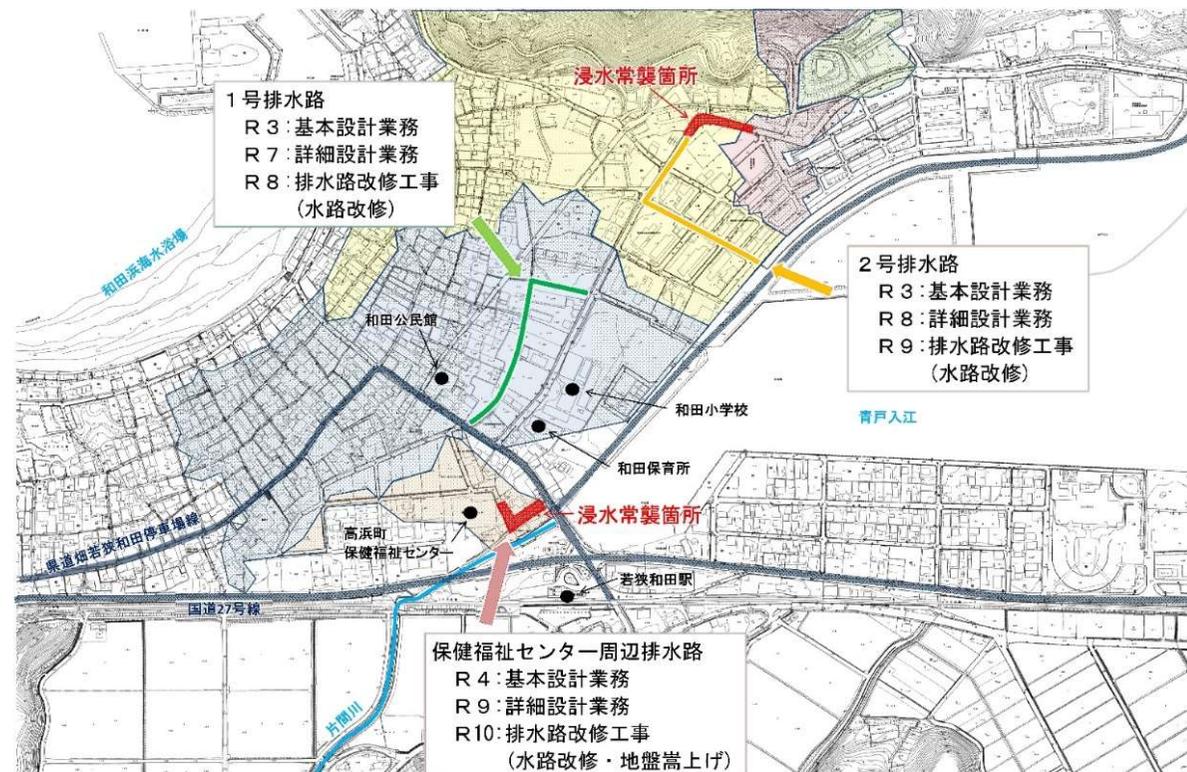


取り組み概要

高浜町和田地区は、近年の気候変動の影響により多発する豪雨や海面上昇により、恒常的に低地部の浸水が発生しており、官地及び民地においても被害が生じている。

既存施設の流下能力を7年確率の計画降雨に対応する下水道として整備し、雨水排水の円滑な処理により低地部の浸水被害を軽減させる。

内容



2号排水路付近



H23.5.29 出水

保健福祉センター付近



R6.7.31 出水

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【内水の排除】

対策内容： 道路嵩上げ、
排水施設改良(普通河川・水路)
対策場所： おおい町 本郷 地係(無作川流域)

位置図



取り組み概要

背景

当該路線は、これまで大雨の際にたびたび一部道路が冠水し、一時全面通行止め措置を行うなど交通網に支障を来している。

目的

当該路線は国道27号線が通行不能となった際の迂回路にもなることから、道路冠水対策を実施し、災害時の道路ネットワークの確保、異常気象時の通行規制区間等の解消及び道路利用者の安全性や利便性の向上を図る。

内容

- 道路冠水を防ぐための道路嵩上げ
- 河川の排水能力を向上させるための排水施設改良
- 周辺の水田を利用した水田貯留
(計画降雨確率年: 10年)

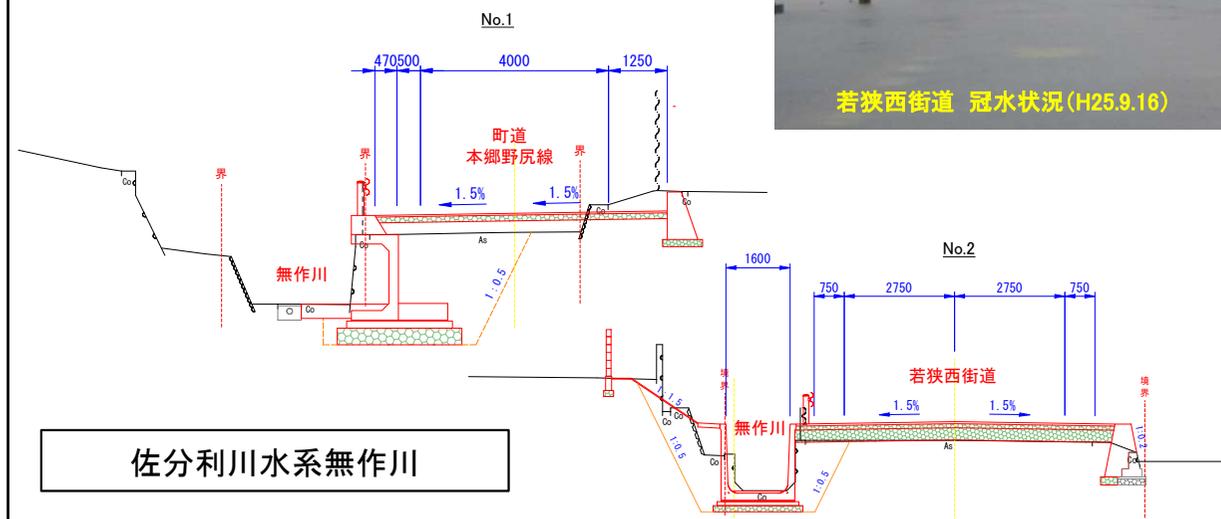
内容



道路冠水箇所	
道路嵩上げ箇所	
水路(無作川)	
若狭西街道	



水田貯留
面積: 4.9ha
貯留量: 10,000m³



【森林の浸透・保水機能の発揮】

対策内容：森林整備

対策場所：若狭町藤井地先、佐古地先(はず川流域)

概要

手入れ不足の森林が増加し、また全国的に土砂災害や風倒木被害などが多く発生していることから、森林の保水力等の機能低下が懸念される。このような中、気候変動に伴い降水量が増加し、土砂流出や流木による災害が一層激甚化するおそれがある。

そこで、利用間伐(有効利用を目的とした間伐)や枝打ち等の森林整備を実施し、天然の下層植生の活性を促すことで、森林機能の強化を図る。

また、河川上流部を中心に倒木や倒木のおそれのあるものについて伐採や撤去を行い、流木による災害を未然に防ぐ。

森林機能の強化

- 森林には、土壌に雨水を浸透させ蓄えて、川へゆっくり流すことで、洪水時における川の急激な増水を緩和するはたらきがある。
- 間伐や枝打ちにより、日光が地面まで届きやすくなり、下層植生(地面に生える草や低木、落ち葉等)が地面を覆う。
- 下層植生が地面を覆うことで、地表の水の流れが遅くなり、土の流失が抑えられ、土壌への浸透が促進される。

流木災害の防止

- 流木は、橋梁や護岸に損傷を与えたり、河川内の流れを阻害することで氾濫を助長する危険性が高く、下流の集落等に深刻な被害を引き起こすおそれがある。
- 倒木等を事前に除去することで、洪水時における流木の発生を防ぐ。

内容



イメージ(間伐等)



間伐されておらず林内が暗い森林



間伐されたことにより光が入った森林

イメージ(河川上流部の倒木等除去)



倒木や倒木のおそれがある木



伐採や撤去が行われた後

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

二級嶺北

【洪水氾濫の防止】

対策内容：利水ダムの事前放流

対策場所：二級河川大味川 武周湖ダム(発電)

位置図



取り組み概要

大味川水系大味川は福井市殿下地区を流れ、大味町にて日本海に流れ込む二級河川である。

大雨時には浸水被害の恐れがあるため、大味川の上流に位置する武周湖ダムの既設放流設備の改修等により事前放流の強化を図り、大味川の浸水被害を軽減させる。

内容

改修計画概要図



改修前後における治水効果について

